



教育相談に関する研究

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

研究主題：教職員のコミュニケーション能力の向上
—「教職員研修ツール」の開発と実践を通して—

第1回研究協議会が実施されました！

8月7日（金）に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期されていた「教育相談に関する研究」の第1回研究協議会が行われました。



所長あいさつ

研究協力校は、水戸市立梅が丘小学校、つくば市立谷田部小学校、鹿嶋市立鹿島中学校、古河市立古河第一中学校、県立神栖高等学校の5校で、各協力校の代表者に集まって頂きました。

開会式では、2年間の研究の開始に先立ち、猪瀬宝裕所長からあいさつがあり、続いて、研究内容の説明「SEL」や「コミュニケーション能力」についての研修を行いました。

SELとは、ソーシャル・エモーショナル・ラーニングの略で、「社会性と情動の学習」と訳されます。例えば、同じ「はい」でも、告白OKのときの「はい」とプレゼントを渡すときの「はい」は感情が違うので、ニュアンスが違います。ニュアンスが違えば、表情や口調も違ってきます。そこで、相手の表情や口調からお互いの感情を適切に理解することで、お互いのコミュニケーションをより円滑にできると言われています。



「はあって言うゲーム」



ロールプレイの様子

研修では、忙しい人に依頼する場面のロールプレイを行いました。頼む側、頼まれる側のそれぞれの感情を推し量ることで、どのように関わっていけばよいかを考えました。

本研究では、このような研修を通して教職員のコミュニケーション能力の向上を目指します。

助言者は、法政大学の渡辺弥生教授です。渡辺教授はハーバード大学で研究員をした経験をもつSELの専門家です。今回は、オンラインによる講義でしたがSELによる教職員のコミュニケーション能力の向上のための示唆を得ることができました。



渡辺教授の講義